

定例記者発表次第

日時／平成30年11月20日（火）

会場／矢板市役所 特別会議室

1 開会

2 記者発表案件

- (1) 「やいた健康ポイント事業」の中間報告について（健康増進課）
- (2) 矢板市ガイドブック「^{ヤイターン}YAITURN」の発行および「矢板市企業見学ツアー」の実施について（商工観光課）

3 資料提供

- (1) 障がい者週間のつどい開催について（社会福祉課）
- (2) 道の駅やいた 12月イベントについて（農林課）
- (3) 市制施行60周年記念事業「矢板駅前イルミネーション」・「片岡駅前イルミネーション2018」の実施について（商工観光課）
- (4) 山田ミヤコタナゴ生息池の生息状況調査の実施について（生涯学習課）

4 質疑応答

5 その他

6 閉会



次回記者発表予定 12月20日（木）14時00分～ 第一委員会室

記者発表資料

平成30年11月20日（火）発表

件名	「やいた健康ポイント事業」の中間報告について		
	<p>平成30年7月からスタートした「やいた健康ポイント事業」について開始から5か月を迎えるにあたり現在の中間報告をまとめる。</p> <p>1 本事業の主な特徴 活動量計（歩数計）を会員証とし、参加者全員に持っていただき「あるく」「はかる」「でかける」「さんかする」の4つの項目でポイント付与する。貯まったポイントは、道の駅やいたや市内の商店で使用できる商品券と交換できる。</p> <p>2 中間結果について 参加者288人（男性111人、女性177人）の歩数データやポイント数 ★平均歩数（1日あたり） 7,860歩 7月平均歩数 7,879歩 → 10月平均歩数 8,171歩 <u>292歩の伸び</u> ★平均ポイント 1,876ポイント ★体組成数値の増減（平均値） 体重 -0.23kg 体脂肪率 -1.8% 脚点 +4.0PT <small>（脚部筋肉量点数）</small> ★イベント参加率増減（昨年度比） 健康ひろば 215人増加 健康ウォーキング 19人増加</p> <p>3 まちなか保健室について 7～10月 延べ参加者 616人（内健康ポイント参加者 538人）</p> <p>※詳細については、別添中間報告資料を参照ください。</p> <p>提供資料の有無：<input checked="" type="checkbox"/>有（別添のとおり）</p>		
担当課・グループ	健康増進課 健康増進担当		
担当者名	杉山 太郎 ・ 尾身 里江		
電話番号	0287-43-1118	内線電話番号	351



やいた健康ポイント事業

中間報告資料

平成30年11月
矢板市健康増進課

やいた健康ポイント事業 参加者属性

★男女別	男 111人	女 177人	計 288人
★40歳～64歳	男 53人	女 86人	計 139人
★65歳以上	男 58人	女 91人	計 149人
★年代別			
80代	男 2人	女 4人	計 6人
70代	男 27人	女 31人	計 58人
60代	男 41人	女 81人	計 122人
50代	男 16人	女 36人	計 52人
40代	男 25人	女 25人	計 50人
★地区別			
矢板地区	男 73人	女 133人	計 206人
泉地区	男 10人	女 13人	計 23人
片岡地区	男 28人	女 31人	計 59人
★健康保険別			
後期高齢	29人		
国保	137人		
社保	122人		

やいた健康ポイント事業 参加者データまとめ

11月12日現在のデータによる

★ 1日あたりの平均歩数

※7月から10月の平均歩数を比較することができる237人のデータより。

7,860歩

1位 28,525歩 2位 21,349歩 3位 19,488歩

男性(89人) 8,769歩 女性(148人) 7,312歩

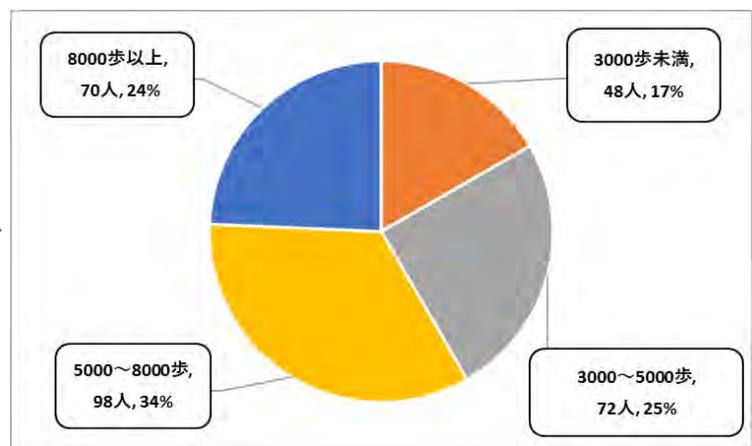
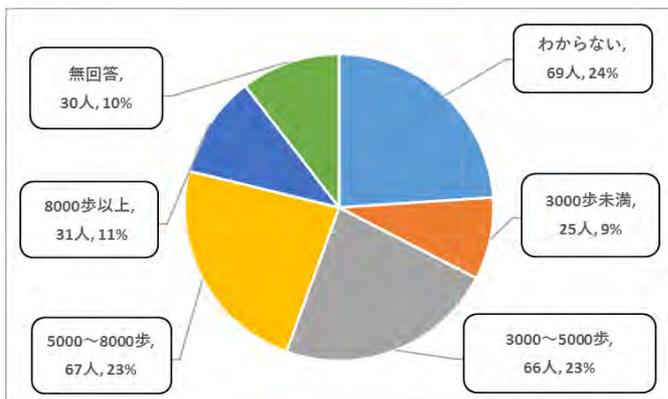
40歳以上の日本の平均身長(男167.5cm 女154.2cm) × 0.45 (歩数の目安)
による歩く距離からの参加者歩行距離推計値
男性 約6.6km 女性 約5.7km

★ 歩数の増減 平均値の推移

7月の平均歩数 <u>7,879歩</u>	8月の平均歩数 <u>7,660歩</u>	9月の平均歩数 <u>7,732歩</u>	10月の平均歩数 <u>8,171歩</u> 最大値
--------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------------

事業参加者説明会時でのアンケート調査
「あなたの1日の歩数をお伺いいたします。」
1日あたりの平均歩数と人数、割合

参加者の歩数データより
1日あたりの平均歩数と人数、割合



約100人いた、自分の歩数が「わからない」「無回答」の方々が活動量計を持つことで、自分の運動習慣、歩数を把握することが、できるようになる

★体組成数値の増減 平均値

※6月に行われた事業説明会において計測した数値から、新たに計測を行った179人の数値比較データより

体重 **-0.23 kg** (最大 -8.3 kg)
 体脂肪率 **-1.8%** (最大 -7.5%)
 脚点 **+4.0 PT** (最大 +23 PT)
 (脚部筋肉量点数)

8,000歩以下の方

体重 -0.10 kg
 体脂肪率 -1.53%
 脚点 +4.37 PT

8,000歩以上歩いている方

体重 **-0.49 kg**
 体脂肪率 **-2.72%**
 脚点 **+2.96 PT**

★付与ポイント 平均値

1,876ポイント

1位 4,690ポイント 2位 4,500ポイント 3位 4,490ポイント

1位の方のポイント内容分析

- ・5000歩数ポイント 610
- ・8000歩数ポイント 1100
- ・健診受診ポイント 1000
- ・イベント参加ポイント 1980

主な対象イベント

健康ひろば 50ポイント
 エアロビクス 50ポイント
 リズム体操 50ポイント
 健康まつり 50ポイント

★イベント参加者の増減、内訳等

イベント名	平成29年	平成30年	増加率
健康ウォーキング	28人	47人	19人増
健康ひろば延べ参加者	168人	383人	215人増
健康まつり計測者 200人中	68人	がポイント参加者	
まちなか保健室延べ参加者 616人中	538人	がポイント参加者	

★ポイントの交換

平成30年12月10日（月）～12月27日（木）

平成31年1月7日（月）～1月11日（金）

の期間に下記の商品券と交換する。

道の駅やいた商品券

やいたモリモリ券（市内商店等55店舗）

城の湯ふれあいの里共通商品券

交換要件 2000ポイント以上溜まっている方が
1000ポイント単位にて交換
ポイントは、次年度に繰り越しすることが可能

今後の課題等

★参加者中、体組成の測定を事業説明会から行っていない方が、109人いる。定期的に歩数をリーダーに読み込ませには来ているので、その際に計測をするよう声かけ等を行いデータの蓄積に努める。

★1日あたりの歩数の平均値を上げるため、他の参加者との比較やランキング等を示すことで、さらなる意欲の向上を図る。

★今より詳細なクロス分析を行うとともに、参加者アンケート等を行い、次年度以降の内容に反映させる。



まちなか保健室 中間報告

まちなか保健室とは・・・

「手軽に、気軽に、健康相談」をコンセプトとし、市民の皆様が集う場所などで、学校の保健室のように、保健師、栄養士等による健康相談や血圧・体組成の測定などを行っている。

やいた健康ポイント事業において「でかける」ポイント付与事業（20ポイント）となっている。

★参加者数等（7～10月） 総数 616人（内健康ポイント参加者 538人）

7月	①11日(水) ベイシア矢板店	総数 61人	(内健康ポイント49人)	7月総数 156人 (内健康ポイント137人)
	②17日(火) 片岡公民館	総数 34人	(内健康ポイント30人)	
	③21日(土) 泉公民館	総数 29人	(内健康ポイント26人)	
	④23日(月) 市保健福祉センター	総数 32人	(内健康ポイント32人)	
8月	①3日(金) 泉公民館	総数 16人	(内健康ポイント14人)	8月総数 150人 (内健康ポイント128人)
	②8日(水) 城の湯温泉センター	総数 34人	(内健康ポイント23人)	
	③18日(土) 片岡公民館	総数 36人	(内健康ポイント35人)	
	④27日(月) 市保健福祉センター	総数 64人	(内健康ポイント56人)	
9月	①12日(水) ベイシア矢板店	総数 60人	(内健康ポイント48人)	9月総数 154人 (内健康ポイント138人)
	②15日(土) 泉公民館	総数 30人	(内健康ポイント26人)	
	③18日(火) 市保健福祉センター	総数 64人	(内健康ポイント64人)	
10月	①2日(火) 市保健福祉センター	総数 42人	(内健康ポイント32人)	10月総数 156人 (内健康ポイント135人)
	②10日(水) 城の湯温泉センター	総数 31人	(内健康ポイント24人)	
	③20日(土) 片岡公民館	総数 27人	(内健康ポイント25人)	
	④29日(月) 市保健福祉センター	総数 56人	(内健康ポイント54人)	



今後の課題等

- ・開催場所により参加者数に偏りがあるため、周知の工夫を行う。
- ・次年度に向けて、新たな開催場所（商業施設等）、開催曜日の検討を行っていく。
- ・やいた健康ポイント事業参加者以外の方への周知を図っていき、一般の方の相談件数を増やしていく。

記者発表資料

平成30年11月20日（火）発表

件名	矢板市ガイドブック「 ^{キャイトーン} YAITURN」の発行 および「矢板市企業見学ツアー」の実施について		
(説明文)	<p>矢板市では、就業支援事業の一環として、矢板市ガイドブック「YAITURN」を発行するとともに、「矢板市企業見学ツアー」を実施いたします。</p> <p>【矢板市ガイドブック「YAITURN」】</p> <p>就職活動中、あるいは関心のある学生・保護者への情報発信を目的に、矢板市の概要やUIJターンによる市内就職者インタビューなどをまとめました。</p> <p>発行年月／ 2018年11月</p> <p>配布予定／</p> <ul style="list-style-type: none">・成人式参加者 約300名・市内3高校2年生+矢板東高校定時制1～3年生 約600名・県内大学（短大・高専含む） 17校・栃木県のUIターン就職促進協定締結大学 105校・そのほか、就業支援事業参加者 <p>【矢板市企業見学ツアー】</p> <p>県内外の大学2～3年生を中心とした若者を対象に、実際に矢板市に足を運び、市内企業の魅力や自然を体験いただくことで、矢板市への関心を高めます。</p> <p>日時／</p> <ol style="list-style-type: none">①平成30年12月15日（土）の日帰り②平成31年 2月12日（火）～13日（水）の1泊2日 <p>内容／</p> <p>市内企業の見学・観光体験 など</p> <p>※詳細・申込方法は「平成30年度矢板市就業支援事業」で検索、または右のQRコードから市ホームページをご確認ください。</p>		
担当課・グループ	経済建設部商工観光課		
担当者名	相馬 智美		
電話番号	43-6211	内線電話番号	422



矢板市情報発信ツール

矢板市公式 Twitter

https://twitter.com/YAITA_CITY



市政情報やイベント情報、矢板市キャラクター「ともなりくん」の活動などを発信しています。



矢板市 Twitter

矢板市公式LINEアカウント「やいこみゅ」

http://line.naver.jp/ti/p/wUy4N7h_6M



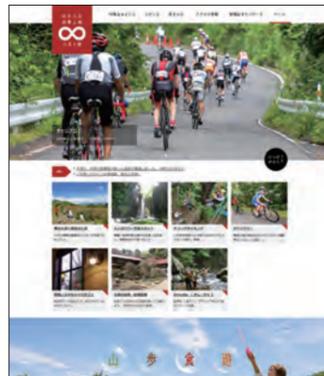
やいたのコミュニティ&コミュニケーションツール！
休日当番医や市内イベント情報などを配信しています。



矢板市 LINE

HAPPY HAPPO Project

<http://happyhappo.net/>



八方ヶ原や県民の森のこをを中心に、矢板市のまちの魅力を発掘・発信しています。



happyhappo

矢板スポーツコミッション

<https://sports-spot-yaita.com/>



サッカーや自転車をはじめとした「スポーツのまち矢板」。スポーツを通じて、矢板市の発展活動を進めていきます。



矢板スポーツコミッション

矢板旅-ヤイタビ

<http://www.yaita-kankou.com/>



矢板市観光協会のホームページ。市内の観光情報を発信しています。



矢板旅

うえぶ商店街「やいたうん」

<https://yaitown.com/>



市内店舗のホームページを集約し「バーチャル商店街」にすることで「矢板市のお店検索」をサポート！



やいたうん

矢板で働こ！矢板で暮らそ！

YAITURN

YAITA-CITY GUIDE BOOK



矢板市って?

WHAT'S YAITA-CITY



矢板で働く! 矢板で暮らす!
YAITURN

都会と田舎で、とかいなか。



矢板市は豊かな自然の恵みを日々の暮らしに感じることができるまちです。自然環境との共生をはじめ、これからの社会を担う皆さんが住みやすく、働きやすいまちづくりを目指しています。また、さまざまな世代とのふれあいと交流を大切にしたい地域社会を築くことが、これからの社会で調和のとれたまちになると考え、子育て支援、高齢者支援、労働支援など、多岐にわたるサポート活動に取り組んでいます。

今回、この「YAITURN」では、矢板市の良いところ、そして、UIJターンにより矢板市内で働いている方の生の声をお届けします。都心から電車で約80分、宇都宮から車で約30分と交通アクセスにも優れている矢板市に住み、働くことをぜひ一度考えていただくきっかけになればと思います。

矢板市長 齋藤 淳一郎

市内3高校生による団体
YAITA ALL DIRECTIONS

- 矢板市のシンボル高原山には八方ヶ原や県民の森などがあり四季を通じて自然とふれあえる
- 大規模な風水害など自然災害の発生件数が少ない
- 交通アクセスが良い立地が良い
- 駅周辺にいろいろなお店が揃っていて利便性が高い
- 地元産のお米・お酒生産量県内No.1のりんごが美味しい
- 道の駅で新鮮な野菜や手作りのお惣菜が買える
- 高校が多い
- 地元のイベントが多い
- 地域の人がとても親切で優しい人が多い
- ほど良く自然があって都会過ぎず田舎過ぎずのどか

TOKAINAKA

就職活動のポイントとサポート！



就職活動の7つのポイント

POINT 1

最初の接触は要注意！



最初の印象は後々まで残ります。好印象を与えるように努めましょう。

POINT 2

業界研究、企業研究などはしっかりと！

会社説明会(ガイダンス・インターンシップ)は、参加者全員が対象なので、企業からの一方通行です。ここで差をつけるのは、業界研究・企業研究・職種研究・地域研究などです。

POINT 3

人脈を大切に。使えるものは、親でも使え！

家族は仕事上、いろいろな企業と取引をしています。信憑性の高い情報を耳にすることもあるかもしれません。先輩の社会人として、ぜひ、家族から情報を入手してください。

POINT 4

情報を上手に活用！

今、情報はいくらでも入手できます。いかにその情報を管理・分析できるかが勝負を分けます。新聞社サイトのナビはもちろん、大手サイトも登録し、情報を入手しましょう。



POINT 5

インターンシップには積極的に参加！

(就業体験)
インターンシップは、企業(人事担当者)から見れば、
①新卒学生と長時間面接ができる
②若手社員の教育(指導・成長)になる
③企業のイメージアップ、PRになる(学生間で評判になる)
などの利点があります。この時、企業が何を求めているかといえば、

- ①人間力(学生の人物像、特徴、能力)
- ②仕事力(仕事への姿勢、取り組み方)
- ③人間性(常識、協調性、メリット)

です。つまり「一緒に働きたいと思えるか」ということです。



POINT 6

悩むよりも、まず行動！

企業の内定を辞退され、予定数にならなければ、二次募集・秋採用などで再募集をします。就活を継続しているなら、アンテナを張り巡らし、自ら動くようにしましょう。一度不合格となった企業の場合でも、不合格になった理由をしっかりと自己分析し、その反省を活かして再挑戦しても問題ありません。

POINT 7

スケジュール管理が重要！

Uターン就職は、スケジュール管理が重要です。ガイダンス・説明会・試験・面接および卒業研究の優先順位をしっかりと決めて行動しましょう。できるだけスケジュールを調整し、自分が納得する行動を行うことが大切です。

就職相談窓口の紹介

とちぎジョブモール

とちぎジョブモールは、若年者をはじめ中高年齢者や障害のある方など、さまざまな求職者の方に対し、栃木労働局と連携して、総合的な相談やキャリアカウンセリング、職業相談から職場定着までをワンストップで支援する、栃木県が運営する総合的就労支援機関です。

[利用時間]
平日/ 8:30~17:15
土曜/ 10:00~17:00
※日曜・祝日・年末年始は休館
[所在地]
〒321-0964
栃木県宇都宮市駅前通り1-3-1
KDX宇都宮ビル1階
[電話番号]
TEL.028-623-3226

ハローワーク

ハローワークでは、全国550以上のハローワークや他の付属施設で集めた求人をもとに、おひとりおひとりにあったお仕事が見つかるよう、ご相談しながらお仕事の紹介を行っています。また、雇用保険給付の支給なども行っています。

[利用時間]
平日/ 8:30~17:15
※土曜・日曜・祝日は閉庁
[所在地]
〒329-2162
栃木県矢板市末広町3-2
[電話番号]
TEL.0287-43-0121

サポステ

地域若者サポートステーション(通称 サポステ)は、働くことに踏み出したい若者たちとじっくりと向き合い、本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働き出す力」を引き出し、「職場定着するまで」を全面的にバックアップする厚生労働省委託の支援機関です。

[栃木県内のサポステ]
●とちぎ県北若者サポートステーション(那須塩原)
月~金/ 10:00~18:00
TEL.0287-47-5200
●とちぎ若者サポートステーション(宇都宮)
火~金/ 10:00~19:00 土/ 10:00~17:00
TEL.028-612-2341
●とちぎ県南若者サポートステーション(小山)
月~金/ 10:30~17:00
TEL.0285-25-7002

今後のサポート活動

矢板市内の企業の魅力を知ることができる

「企業見学ツアー」開催！

仕事を目で見、肌で感じるチャンスです！資料だけではわからない現場の雰囲気も感じることができます。企業のほか、矢板市の魅力スポットにも立ち寄ります。企業社員との交流を通して将来を考えましょう！

日程 12月15日(土)に日帰り、
2019年2月12日(火)・13日(水)に1泊2日で実施予定

採用担当者と直接話ができるチャンス！

「矢板市合同企業説明会」開催！

矢板市内の企業が宇都宮市内会場に集結し、各採用担当者から企業紹介・募集要項・採用フローについて説明します。興味のある企業と納得いくまで直接話ができる絶好の機会です！

日程 2019年3月2日(土)予定 場所 宇都宮市内予定



今後の見学ツアー・企業説明会はこちらから！ ▶ <http://www.city.yaita.tochigi.jp/site/syugyoshien/syugyoshien2018.html>

SENIOR'S
INTERVIEW

やりがいのある仕事と
趣味のボルダリングで
毎日楽しく暮らしています！

どんな仕事？どんな生活？ Q & A

Q 今までの経歴を教えてください。

A 地元は千葉県で小・中・高とそこで育ちました。高校を卒業するときに福祉に興味を持ち、国際福祉医療大学を希望し栃木県にきました。現在の職場で15年目に入ります。すっかり栃木県民になっています。

Q 新井さんの場合は1ターンになりますか？

A はい、そうです。大学は大田原市、結婚して住まいは矢板市に近い宇都宮市に移りました。一度は幼稚園に就職したのち、今のたかはら学園で働いています。

Q 矢板市のいちおしポイントは？

A 「地域交流たかはら祭り」等で地域に協力を仰ぐと、皆さんが快く手を貸してくれ、地元のコミュニティの強さを感じます。学園の存在には地域のサポートが必要だからこそ、地元の人達とのつながりに感謝しています。

Q 矢板市に住んでいるメリット・デメリットはありますか？

A 職場は片岡地区にあって、駅に出れば都心にも東北にも行けるので交通の便は良いです。買い物は宇都宮市に出ることもあります。

Q ご家族について教えてください。

A 妻と、子どもは小学校1年生と年中の女の子2人です。去年までは変則勤務でしたが、今年から土日休みになったので、子どもと過ごす時間が増えました。

Q 働き方や仕事のやりがいについて教えてください。

A 知的障害のある方の生活を支援をしています。やり方を教えてすぐできるものではなく、だからこそ1年かけてできるようになった姿を見るとやりがいを感じます。職員同士も人に支えられて生きていることを真に受け止めているからこそ、仲間同士の結束は強いです。先日行った1泊のディズニー旅行は学生の皆が本当に楽しみにしていて、大変ながらも行って良かったなと思いました。

Q 親代わりの気苦労もありますか？

A 子どもは15名、大人もいます。親から受けられない愛情にどうやって関わるか難しいところです。親にはなれないけど、時には親のように、時には友だちのように、場面によって立ち位置を変えなければいけません。高校入試等にも熱くなって指導するなど、やりがいにもなりますね。

Q 現場は若い人が多いですか？

A 20代が多いですね。入園者の方々の行動をどのタイミングでサポートしてあげるかをつかむまでは大変ですが、皆がやりがいを持って働いています。

Q 休日の過ごし方は？

A ボルダリングを4年ぐらいやっています。矢板市にジムがあり、職場の皆さんも行きます。どっぷりはまっています！

地域活性のために
地域の支えになっていきたい。

社会福祉法人 たかはら学園

あらい ひであき
新井 英明さん (千葉県出身/入社15年目)

社会福祉法人 たかはら学園

地域とともに歩む「たかはら学園」を目指して

当法人では、平成24年に施設の全面改築を行い、利用者さんたちは、設備の整った環境の中で快適な生活ができるようになりました。「明るく元気な笑顔あふれるたかはら学園」をモットーに、職員一同、明るく温かい心を持って利用者の指導・支援に努めています。利用者の皆さんに「たかはら学園での生活は楽しい」と言ってもらえるように、日々の活動はもとより、職員の創意あふれる工夫でさまざまな楽しい行事を計画し実践しています。

また、地域の皆さんに「たかはら学園」を理解いただくために、「地域交流たかはら祭り」「納涼祭」などの地域交流行事や、利用者・職員によるゴミ拾いなど地域の清掃活動を実践し、地域の方々との交流を深める努力を続けています。利用者の皆さんが少しでも地域に溶け込んだ楽しい生活ができるようこれからも支援をしていきたいと考えています。

〈学園の概要〉

- 設 立 / 1969年3月27日
- 所 在 地 / 〒329-1573 矢板市越畑226番地
- 代 表 電 話 / 0287-48-0304
- 代 表 者 / 理事長 瀬端 道男
- 従 業 員 数 / 95名
- 主 業 務 内 容 / 知的障害児、者の入所者、通所者への生活支援・作業支援・余暇支援など

www.taka.or.jp



●施設外観



●5月ハイキング



●地域交流たかはら秋のスポーツフェスタ



SENIOR'S INTERVIEW



今までの山林事業のイメージを払拭し、次世代につなぐ山林を！



山林の高齢化が進む今こそ次世代に残せる山を作りたい。

株式会社 トーセン

ひるた まさひろ

蛭田 将寛さん (大田原市出身/入社4年目)

居住
1年

株式会社 トーセン

木に宿る 無限の価値を、暮らし、社会に。

日本の国土の約68%は山林であり、豊かな森林資源に恵まれているにも関わらず、手が入らずに荒廃の進む山が後を絶ちません。細く曲がって間伐された木は、価値のないものとされ、山に捨てられていました。この森林未利用材を活用することが、木質バイオマス事業です。質の良い木材は無垢材として、多少の欠点があるものは欠点を取り除き集成材として、そしてどちらもできないものをバイオマス燃料として、それぞれ最も適した形で利用することで、森林資源を循環させ、失われかけた山林の価値を取り戻していけるのではないかと考えています。

当社は、栃木県に本社を構え、関東一円に23の工場を持つ、国産材専門の製材工場です。住宅建築用の製材日本一の生産量を誇ると同時に、木質バイオマスのエネルギー利用を積極的に活用できる循環型企業としての確立を目指して、積極的に事業展開を推進しています。

〈会社概要〉

- 設立 / 1964年
- 所在地 / 〒329-2511 矢板市山田67番地
- 代表電話 / 0287-43-8379
- 代表者 / 代表取締役 東泉 清寿
- 従業員数 / 132名(パート含む)
- 主な事業内容 / 間伐材の利用を主体とした無垢材、乾燥材、集成材の生産及び販売・木質バイオマス事業

www.tohsen.net



YAITURN

どんな仕事？どんな生活？ Q & A

Q 今までの経歴を教えてください。

A 生まれは大田原市。小・中学校は地元で、高校は西那須野に通っていました。その後、東京農業大学卒業後、就職しました。今は矢板市に住んでいます。

Q 栃木に戻ってきたきっかけを教えてください。

A 東京都で就職活動し、いくつか内定はもらっていましたが、実家が農家をやっていたことや大学で商品流通の経済システムを学び、農業と林業にも結びつきがあったことから興味を持ちました。川上から川下まで知っている、中核となる企業を…と弊社を選び就職しました。

Q 林業は担い手がなくて大変ですよね？

A 木こりのなり手がなかなかいません。農業と同じく林業も大変です。

Q 大変だなと思うこと、やりがいは？

A 私の担当は山林の売買・管理。お客様は高齢の方が多いので、意思疎通は大変です。しかし、山のあるべき姿を考えていけるのがやりがいがあります。世代交替が行われている時代なので、案件も多いですね。

Q 一日のタイムスケジュールは？

A 8時出社で19時くらいに退社というパターンが多いです。午前中は現場で山林の調査・現場監督をすることが多く、午後から夕方までデータのとりまとめをします。

Q 矢板市の住み心地は？

A 都内と比べると交通の利便性は劣りますが、自然は豊かです。ゆっくりとした時間の中で生活できるのは良いです。美味しい野菜などに恵まれているのは矢板市だからこそですね。

Q 矢板市ならではの楽しみ方について教えてください。

A りんごの産地なので、時期によってはりんご狩り。山に足を延ばすこともあります。

Q 矢板市のグルメのいちおしは？

A 駅前の「龍園」という中華料理のお店です。豚肉をソテーしたステーキのようなメニューが美味しいです。タレント・所ジョージさんの番組にも取りあげられました！

Q 仕事やプライベートの目標は？

A 山林の高齢化が進んでからこそ、次の世代に残せる山を作りたいです。3K(汚い、きつい、危険)のイメージを変えていけたらと思います。プライベートは、仕事で栃木県の県産材を扱っているからこそ、矢板市の木でマイホームを建てられたらいいと思います。



● エネルフォーレ50とは、製材所を中心とした50km圏内を、林業と各産業、そしてバイオマス発電による電気と、熱エネルギーで独立した経済圏を創造する考え方で。



● 安定供給と高品質を実現する製材・資材販売部門



● 山林の売買経営の情報サイト「山林活用ドットコム」を運営

SENIOR'S INTERVIEW



作った商品を
たくさん
世に出していきたい!

YAITURN

どんな仕事?どんな生活? Q & A

Q なぜ社関に就職しようと思ったんですか?

A (ゆ)栃木県の合同説明会で社関を知りました。大学は生物工学科で食を学んでいたもので、興味を持ちました。
(ビ)関東周辺で就職したかったことと、中国とのやりとりもあり、中国語が話せる自分のスキルを活かせると思いました。社関の社風も好きです。

Q 今はどのようなお仕事を担当されていますか?

A (ゆ)商品開発や市場に出てる商品の売り上げを確認しています。
(ビ)通訳と生産管理です。会社案内も作ったりしています。

Q 一日のスケジュールを教えてください。

A (ビ)8時半前に会社に到着、17時半まで就業、残業が18時から19時ぐらいです。日報を打ち込み、単価の確認、会社の看板・マニュアルの作成をしています。基本はデスクワークが多いです。実習生のケアもしています。開発からの依頼で通訳もします。
(ゆ)7時に出勤、8時に到着。8時半~17時半が就業時間。18時から19時まで残業して20時に帰宅、23時頃就寝。営業さん向けに商品サンプルを作ったりもします。商品のカルテ作成、商品作成のための指示書作成もします。

Q 矢板市ならではのグルメはありますか?

A (ビ)リサイクルショップの敷地内にある台湾料理屋さんが美味しいです!
(ゆ)あまり外に食べに行くことはないんですが、会社の近くにある定食屋さんはボリュームがあります!

Q 矢板市での暮らしはhowですか?

A (ゆ)緑が多く空気がきれいで、産地直送の野菜も食べることができ、素敵なところ。
(ビ)矢板市に引っ越ししてよかったと思っています。空気や水は美味しいし、緑が見えるまちです。人も優しい方ばかりです。

Q 一人暮らしの楽しみ方を教えてください。

A (ビ)美味しいものがたくさんあるので、食べ歩きもできるし、地元産品で料理もします。農業体験もしたことあります。春は山菜取りに行き、秋はキノコ狩りにも行きます。
(ゆ)4月に引っ越してきたばかりなので、これから探していきたいです!

Q 今後の目標を教えてください。

A (ゆ)仕事は徐々に任せていただいているので、作った商品が世に出ていくのが楽しみです。更に、やりがいや楽しみも見つけていきたいです。プライベートでは、県内の旅行も楽しみつつ、将来的に家庭菜園とかやってみたいです。
(ビ)生産効率が上がるように考えていきたいです。食品会社として世界のフィールドへ自分の通訳も活かし広がっていければと思います。地域の人も仲良くできているので、今の温かい環境や関係性を持続できるようにしていきたいです。



食品会社として世界のフィールドへつなぎたい。

株式会社 社関

(左) **遊佐 一希さん** (福島出身/入社1年目)

居住
1年

(右) **グエン ティ ゴック ビックさん** (ベトナム・ハノイ出身/入社2年目)

居住
2年

株式会社 社関

Give the happiness and food

当社は1991年の創業以来、事業を通じて「誰かが喜ぶ姿」を思い描いて社会の発展に貢献することを基本理念とし、あらゆる活動を行ってまいりました。常に「人」を中心に置き、その「食文化」を見つめ、食と笑顔 未来へつなぐ架け橋に—それが今も昔も変わらない社関の原点です。そして、今私たちが目指すのは、ご家庭、外食、オフィス、行楽地など、お客様が生活する様々な空間において、食を通じて幸せが得られる商品を追求していくことです。そのために、これまで食品製造で培ってきた社関の強みと、それぞれの空間を知り尽くしたビジネスパートナーの強み、それらを掛け合わせることで、これまでにない新たな価値を生み出してまいります。

〈会社概要〉

- 設立 / 1991年8月(創業)
- 所在地 / 〒329-1579 矢板市こぶし台4-1
- 代表電話 / 0287-48-3301
- 代表者 / 代表取締役社長 板山 健一
- 従業員数 / 300名
- 主な事業内容 / 水産・農産物加工品の製造・販売

www.sokan.jp



●本社工場



●手作業で一つ一つ包装



●全国へ出荷

SENIOR'S INTERVIEW



市役所の
なくてはならない
人材になりたい!

地域外で培ったものを これからの道筋にしていきたい。

矢板市役所 総合政策課
弦巻 賢介さん (東京都出身/入社5年目)

居住
3年

矢板市役所

矢板づくりを、一緒に。

矢板市は、美しい高原山に抱かれて、豊かな自然の恵みを日々の暮らしに感じる
ことのできるすばらしいまちです。将来にわたりこの豊かな自然を大切にしながら、
矢板の良さを活かして、次のことを目標に、未来に夢と希望が持てる矢板市を築い
ていきます。

- 「人」いきいき
いつまでも健康でいきいきしているまちづくり一人ひとりの笑顔が輝くまちづくり
- 「水・風・緑」きらきら
豊かな自然を大切にすまちづくり
- 「暮らし」のびのび
安心・安全で快適に暮らせるまちづくり活力と活気にあふれるまちづくり

〈市役所の概要〉

- 設 立 / 1958年11月1日
- 所 在 地 / 〒329-2192 矢板市本町5番4号
- 代 表 電 話 / 0287-43-1113
- 代 表 者 / 矢板市長 齋藤 淳一郎
- 従 業 員 数 / 261名(平成30年10月現在)
- 主 な 事 業 内 容 / 福祉・教育・環境・産業振興・まちづくりなど

www.city.yaita.tochigi.jp



YAITURN

どんな仕事?どんな生活? Q & A

Q 今までの経歴を教えてください。

A 生まれも育ちも東京都江東区。矢板市に来たのは29歳のときです。大学院時代は高原山の火山地質学を研究していました。実際に現地に出向き、フィールドワークをすることも度々。学生時代はお金がなかったので、道の駅やキャンプ場などで寝泊まりしたものです。そんなとき、地域の方から、「山の研究の話をしてほしい」と講演の依頼をいただきました。お話を聞いていただき、触れ合いを持てたことは本当に楽しかったです。その日を境に、「自分のよく知っている高原山を、地域の方々が知らないのはもったいない」と思うようになりました。そんな中、矢板市の職員の募集があり、運よく採用していただいたのです。当時、矢板市は指定廃棄物処理場の建設問題を抱えており、自分が研究していたことが地域のためになればという思いもありました。矢板市役所では環境課に4年在籍したあと、今年から総合政策課勤務となりました。

Q 具体的な仕事内容とスケジュールは?

A 地域の人に地域の魅力を知ってもらえるように。今は地域おこし協力隊と協力しながらまちづくりの骨格を作っています。平日は、7時半に家を出て子どもを保育園に預け、8時過ぎに市役所につき、17時半まで就業。子どもを迎えにいき、18時ごろ家に帰ります。

Q 矢板市のメリット・デメリットは?

A メリットは東京都までそう遠くはないこと。そして、田舎具合がちょうどいいところだと思います。田舎の風景は昔から好きだったので、矢板市をとても気に入っています。人間らしいペースで仕事ができるのもメリット。東京にいたときは、日々追われている感じで、「こんな状態でずっと楽しく暮らせるのか」と、不安に思うことがありました。デメリットは気軽に飲んで帰れないことですかね(笑)。

Q 矢板市ならではの過ごし方は?

A 自然の中で遊ぶのが、とにかく楽しいです。東京の親戚を連れて山に行ったり、川遊びをしたり、家で家庭菜園もやっています。野菜は近所でもらったり、家のもので間に合うのは贅沢だと思います。生活全部がゆったりしてるな、と思います。

Q グッドデザイン賞の家にお住まいと伺いましたが!

A 大学生の時は東京都中野区のアパートに住んでいたんですが、空が狭かったです(笑)。矢板市では、自分の好きなようにデザインしたマイホームを建てることができ、住み心地も快適です。そんな家の存在は大きいです。



Q ご家族は?

A 妻と3歳の女の子とネコがいます。

Q 仕事・プライベート含めた今後の目標は?

A 自分は役所の人間ですが県外からの人間です。市民の皆さんから税金をいただき仕事をしているのでいつか「弦巻さんが市役所にいてくれて良かった」と言ってもらえるようになりたいです。外からの目線や外で培った人脈を活かし、矢板市と都心をつなぐ線になればいいなと思います。



●庁舎写真



●給水訓練の様子



●農地調査の様子

記者発表資料

平成30年11月20日（火）提供

件名	障がい者週間のつどい開催について		
(説明文)	<p>障害者週間（12月3日～12月9日）に、「障がい者週間のつどい」を開催する。今年度で4回目の開催である。</p> <p>1 目的（趣旨） 精神障がいがある当事者による講話、視覚障がい・知的障がいの疑似体験や車いすに乗る・介助する体験をとおして、障がいや障がい者支援についての理解促進、啓発を図る。</p> <p>2 日時 平成30年12月9日（日）13時00分開場 13時30分開会 16時00分閉会予定</p> <p>3 場所 矢板市文化会館 小ホール</p> <p>4 主催 矢板市 矢板市地域自立支援協議会</p> <p>5 内容 開会行事（13：30～13：45） オープニングアトラクション たかはら学園和太鼓クラブ 第1部 講話・パネルディスカッション（13：45～14：45） 「精神障がいがある方の地域での暮らし～当事者からのメッセージ： 私たちにとっての「生きがい」「働く」～」 講師 (株)テトテ 相談支援専門員 大高久尚氏、ピアサポーターの方 第2部 体験講座（15：00～15：50） ・視覚障がい・知的障がいの疑似体験、車いすに乗る・介助する体験 ・障がい児者とのふれあい 矢っちゃれ隊と一緒によさこいを踊ろう その他・ロビーにて福祉サービス事業所等による物品販売（手作り小物、焼き菓子、しいたけなど）出店協力団体：(福) たかはら学園、(特非) ワーカーズコープ、(株) テトテ、(福) あいのかわ福祉会 ・どなたでもご参加いただけます。申し込み不要。入場無料。</p> <p>※提供資料の有無：<input checked="" type="checkbox"/>（別添のとおり）・無</p>		
担当課・グループ	社会福祉課障がい福祉担当		
担当者名	石下 清香		
電話番号	0287-43-1116	内線電話番号	345

～12月3日から9日は障害者週間です～

ふれあいカード対象事業
小中学生はカードをもってきてね!

平成30年度
障害者週間のつどい

開催のご案内

障がいってなんだろう。福祉ってなんだろう。そんなことを考える
きっかけとなる“つどい”を開催します。

学ぼう

日時：平成30年12月9日(日)

13時00分 開場

13時30分 開会

場所：矢板市文化会館小ホール

第1部：講話・パネルディスカッション

「精神障がいがある方の地域での暮らし
～当事者からのメッセージ：私たちにとっての
「生きがい」「働く」～
講師：(株)テトテ 相談支援専門員 大高久尚氏、
利用者(ピアサポーター)の方
大田原市、那須塩原市で障がい福祉サービス事業を展開する(株)テトテの大高氏、利用者(ピアサポーター)の方から地域の中で元気に暮らすこと、働くことについてお話しをいただきます。

体験しよう

第2部：体験講座

「障がい者福祉体験をしよう!
～障がい者の気持ちを体験～」

視覚障がい、知的がいの疑似体験、車いすに乗る・介助する体験をします。体験してみてどんな「気持ち」になるかな?

みんなで盛り上がりましょう

オープニングアトラクション：
たかはら学園和太鼓クラブ
障がい児者とのふれあい：
矢っちゃん隊とよさこいを踊ろう!



ロビーにて福祉サービス事業所による
販売会を実施します!

パン、焼き菓子、しいたけ、手作り小物など。
是非お立ち寄りください!



主催：矢板市 矢板市地域自立支援協議会 協力：矢板市社会福祉協議会

《問い合わせ》矢板市地域自立支援協議会事務局

矢板市社会福祉課障がい福祉担当 ☎0287-43-1116 FAX0287-43-5404

障がい者週間のつどい



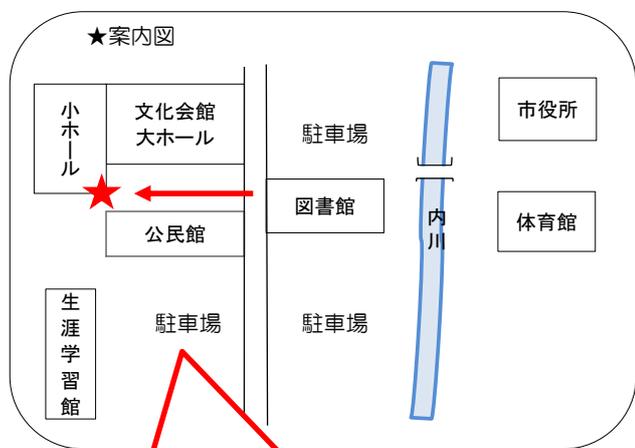
講話では、精神障がいのある当事者の方からお話を聞きます。体験講座は小学生でも体験できる内容です。

内容詳細

時間	内容
13:00~13:30	<ul style="list-style-type: none"> ・受付開始 ・ロビーにて福祉サービス事業所等による販売会開始
13:30~13:45	《開会行事》 ○オープニングアトラクション たかはら学園和太鼓クラブ ○開会のことば 主催者あいさつ
13:45~14:45	《第1部 講話・パネルディスカッション》 「精神障がいがある方の地域での暮らし ～当事者からのメッセージ：私たちにとっての「生きがい」「働く」～」 ○講師 (株)テトテ 相談支援専門員 大高久尚氏、利用者(ピアサポーター)
14:45~15:00	休憩
15:00~15:50	《第2部 体験講座》 「障がい者福祉体験をしよう！～障がい者の気持ちを体験～」 ○視覚障がい者・知的障がい者疑似体験、車いすに乗る・介助する体験 <ul style="list-style-type: none"> ・アイマスクを付けて歩いてみよう ・軍手を付けて日常の動作をしてみると…どんな気持ちになるかな？ ・車いすに乗ってみよう、押してみよう ○障がい児者とのふれあい <ul style="list-style-type: none"> ・矢っちゃれ隊と一緒によさこいを踊ろう
15:50~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート記入 ・閉会

場所 矢板市文化会館小ホール

矢板市地域自立支援協議会とは



当日は、障がい者用駐車スペースを確保してありますのでご利用ください。

矢板市地域自立支援協議会は、矢板市の障がい者等への相談支援事業や地域の障がい福祉に関することを話し合う協議会です。協議会のメンバーは地域の保健・医療・福祉関係者や教育・雇用関係者、障がい福祉関係団体、地域住民代表、障がい福祉サービス事業者、法曹関係者などです。

出店協力団体

- (福) たかはら学園
- (特非) ワーカーズコープ
- (株) テトテ
- (福) あいのかわ福祉会

記者発表資料

平成30年11月20日（火）発表・提供

件名	道の駅やいた 12月イベントについて
1	<p>たまごの掴み取り大会</p> <p>道の駅やいたにて1,000円以上お買い上げのお客様に参加チケットを1枚進呈します。</p> <p>日時 平成30年12月9日（日） 9時00分～ ※商品がなくなり次第終了</p> <p>場所 農産物直売所前軒下</p>
2	<p>あったか鍋無料配布</p> <p>道の駅やいた農産物直売所組合野菜部会より感謝の気持ちを込めて、あったか鍋を無料配布いたします。</p> <p>日時 平成30年12月9日（日） 10時00分～ ※商品がなくなり次第終了</p> <p>場所 道の駅やいた特設会場</p>
3	<p>矢盛クラブのつきたて餅プレゼント</p> <p>道の駅やいたにて1,000円以上お買い上げのお客様につきたて餅（1パック）の引換チケット（あんころもち又はきなこもち）を1枚進呈します。</p> <p>日時 平成30年12月16日（日） 9時00分～ ※商品が無くなり次第終了</p> <p>場所 道の駅やいた特設会場</p>
4	<p>クリスマスプレゼント</p> <p>来場された先着500名様のお客様にお菓子をプレゼントします。</p> <p>日時 平成30年12月24日（祝・月） 9時00分～</p> <p>場所 農産物直売所出入口及び農村レストランレジ</p> <p>道の駅やいたにて1,000円以上お買い上げのお客様に粗品を進呈いたします。</p> <p>日時 平成30年12月24日（祝・月） 9時00分～ ※商品がなくなり次第終了</p> <p>場所 農産物直売所レジ及び農村レストランレジ</p>

12月休業日

農産物直売所・農村レストラン … 12月12日(水)

エコモデルハウス … 毎週水曜日

年末年始休業日

12月31日(月)～1月3日(木)

駐車場、トイレは24時間利用可

担当課・グループ	農林課		
担当者名	矢板 寿江		
電話番号	43-6210	内線電話番号	409

記者発表資料

30年 11月 20日 (火) 発表・提供

件名	市制施行60周年記念事業「矢板駅前イルミネーション」・「片岡駅前イルミネーション2018」の実施について		
<p>駅前をイルミネーションで彩り、市のイメージアップと活性化につなげます。</p> <p>1. 市制施行60周年記念事業「矢板駅前イルミネーション」</p> <p>①日時 平成30年11月30日(金)から平成31年 1月13日(日) 17:00～23:30(初日のみ、点灯式後～23:30) イルミネーション点灯式 11月30日(金) 18:00～</p> <p>②場所 JR矢板駅西口 駅前広場</p> <p>③内容 高さ約15メートルのヒラヤマスギを中心に、約3万個のLEDが華やかに灯ります。初日には、カウントダウンによるイルミネーション点灯式が行われ、アトラクションとして、すみれ幼稚園児によるハンドベル演奏が行われます。併せて市制施行60周年記念事業として、えりのあさんによるミニLIVEや、矢板高校生制作のイルミネーションが展示されます。</p> <p>④主催・問い合わせ 矢板まちづくり研究所 080-6503-5952(事務局携帯)</p> <p>2. 片岡駅前イルミネーション2018</p> <p>①日時 平成30年12月1日(土)から平成31年 1月 7日(月) 17:00～23:30</p> <p>②場所 JR片岡駅前 西口・東口駅前広場</p> <p>③内容 片岡駅前の東口・西口周辺に1万個の電球が灯ります。</p> <p>【関連イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年12月1日(土) 16:30～ ミニコンサート第1部、キャンドル点火 17:00～ イルミネーション点灯式 17:30～ ミニコンサート第2部 ・場所 片岡駅西口広場 ※豚汁、コーヒー、紅茶など温かい飲み物をサービス。 ※お子様には、お菓子のプレゼント。 <p>④主催・問い合わせ 矢板市片岡地区コミュニティ推進協議会 (片岡公民館内) TEL0287-48-0101</p> <p>※駐車場は、矢板駅前・片岡駅西口市営駐車場を利用(最初の30分間無料)</p>			
担当課・グループ	商工観光課 観光スポーツ・ツーリズム担当		
担当者名	今津 崇人		
電話番号	0287-43-6211	内線電話番号	424

矢板市制施行 60 周年記念事業



矢板駅前イルミネーション 2018

【点灯式】

平成30年 11月30日(金)18時～

- ★カウントダウン点灯
- ★すみれ幼稚園児によるハンドベル演奏
- ★えりのあ ミニ LIVE

お問い合わせ
矢板まちづくり研究所
080-6503-5952

点灯期間 11月30日(金)～1月13日(日)

点灯時間 17:00～23:30

(初日のみ点灯後～23:30)

駐車場は矢板駅前駐車場(有料、最初30分までは無料)をご利用ください。

片岡駅前イルミネーション 2018

点灯期間：平成30年12月1日(土)～

平成31年1月7日(月)

点灯時間：午後5時～午後11時30分



☆点灯式/キャンドル・ナイト

日時：平成30年12月1日(土)

キャンドル・ナイト/午後4時30分～

点灯式/午後5時～

場所：片岡駅西口広場



《イベント内容》

- 16:30～ ミニコンサート第1部
キャンドル・ナイト（一夜限りの幻想的な世界へあなたを誘います。）
ふれあいの場開設
あったか～いけんちん汁、コーヒー、ココアなどの飲み物を無料で、ご用意しております。キッズには、ささやかなお菓子もプレゼント♪
- 17:00～ イルミネーション点灯式
（あなたの心に片岡魂を灯します。）
- 17:30～ ミニコンサート第2部

みなさまのご来場をお待ちしております。



主催：矢板市片岡地区コミュニティ推進協議会

協力：矢板市婦人会片岡支部、矢板警察署片岡駐在所・乙畑駐在所

矢板市消防団第3分団第1部・第2部、矢板市、片岡公民館

問い合わせ：矢板市片岡地区コミュニティ推進協議会事務局（片岡公民館内）

☎0287(48)0101 8:30～17:15（月曜・祝日は休館です。）



記者発表資料

平成30年11月20日（火）発表・提供

件名	山田ミヤコタナゴ生息池の生息状況調査の実施について		
水不足のため延期した平成30年10月23日のミヤコタナゴ生息調査を、以下の内容にて改めて実施いたします。			
1	日時	平成30年11月28日（水） 午前9時から ※雨天時は12月に延期します。	
2	場所	山田地区ミヤコタナゴ生息池 ※場所を特定されないよう、報道の際は上記の表現でお願いします。	
3	主催	矢板市教育委員会、山田ミヤコタナゴ保存会	
4	調査の趣旨	全生息物を調査し、年度ごとの生息物の変化を把握することを目的に、平成13年度から毎年1回実施している。	
5	内容	県自然環境課、県水産試験場等の指導を仰ぎながら、池の水をすべて抜き、全生息物の種類及び数を調査する。生息物の確認終了後は、天敵となる生き物以外の生息物を池に戻す。	
6	参加者	山田ミヤコタナゴ保存会、市教育委員会、山田行政区、県自然環境課 県水産試験場、矢板森林管理事務所、環境生物化学研究所 等	
7	備考	平成29年度のミヤコタナゴ生息数 227匹（平成28年度比48匹減）	
担当課・グループ	矢板市教育委員会 生涯学習課 文化担当		
担当者名	津野田 陽介		
電話番号	0287-43-6218	内線電話番号	471